

展示会「国際アンデルセン賞受賞作家・画家展」 及び関連イベントのお知らせ



国立国会図書館国際子ども図書館では、令和6年10月1日（火）から12月25日（水）まで、展示会「国際アンデルセン賞受賞作家・画家展」を開催します。

国際アンデルセン賞は、児童文学への永続的な寄与に対する表彰として、国際児童図書評議会（IBBY）から隔年で贈られる国際的な賞で、「小さなノーベル賞」とも言われています。日本からは、赤羽末吉、安野光雅、まど・みちお、上橋菜穂子、角野栄子が選ばれています。

IBBYの創設者であるイエラ・レップマン（1891–1970）は、第二次世界大戦直後の廃墟となったドイツで、子どもたちが本を通して国際理解を深め、平和な世界を築くことを目指しました。

本展示会では、今年11月に創立50周年を迎える、IBBYの日本支部である日本国際児童図書評議会（JBBY）と国際子ども図書館が共催し、レップマンの平和への祈りから生まれた国際アンデルセン賞の歴代受賞者65名とその作品を紹介します。当館の所蔵資料を通して、広く多様な世界への橋渡しとなる、子どもの本への理解が深まれば幸いです。

また、10月6日（日）、展示会の関連イベントとして、「国際アンデルセン賞受賞作家・画家展」講演会を、国際子ども図書館アーチ棟1階研修室1で開催します。講演会の動画は、10月7日（月）から12月25日（水）まで、YouTubeの国立国会図書館公式チャンネルで公開します。

※報道に際して国立国会図書館国際子ども図書館の名称を表記する場合は、「国際子ども図書館」のように略さずに「国立国会図書館国際子ども図書館」と表記していただくよう、お願い申し上げます。

【お問合せ先】国立国会図書館国際子ども図書館 企画協力課 03-3827-2041（直通）

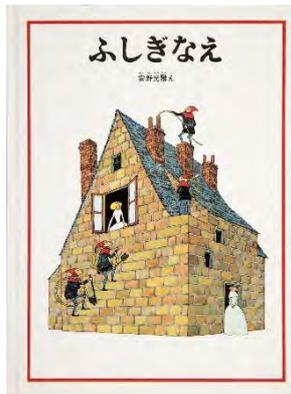
【展示会開催概要】

日 時	10月1日(火)～12月25日(水)
開館時間	9時30分～17時
休館日	月曜日、国民の祝日・休日、毎月第3水曜日(資料整理休館日)
場 所	〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49 国立国会図書館国際子ども図書館レンガ棟 3階 本のミュージアム
入 場 料	無料
ホームページ	https://www.kodomo.go.jp/event/exhibition/tenji2024-04.html

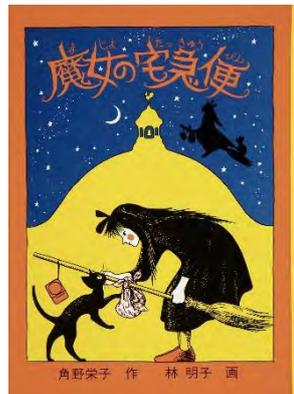
【出典資料紹介】

※以下の画像データは、本展示会の広報の目的であればご提供できます。

①



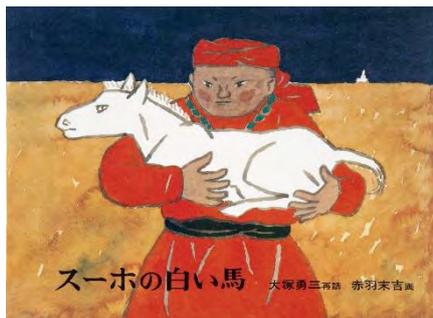
②



③



④



⑤



⑥



- ① 『ふしぎなえ』安野光雅 著 福音館書店 1971
- ② 『魔女の宅急便』角野栄子 作, 林明子 画 福音館書店 1985
- ③ 『精霊の守り人』上橋菜穂子 作, 二木真希子 絵 偕成社 1996
- ④ 『スーホの白い馬』大塚勇三 再話, 赤羽末吉 絵 福音館書店 1967
- ⑤ 『やぎさんゆうびん』まど・みちお さくし, 渡辺有一 え チャイルド本社 2010
- ⑥ 『かいじゅうたちのいるところ』モーリス・センダック さく, じんぐうてるお やく 富山房 1975

「国際アンデルセン賞受賞作家・画家展」関連講演会

2018年国際アンデルセン賞作家賞受賞者角野栄子氏・児童文学及び国際アンデルセン賞に造詣が深い土居安子氏を講師にお迎えし、ご講演いただきます。

【講演会開催概要】

内 容	<p>「旅する物語」 講師：角野栄子氏（2018年国際アンデルセン賞作家賞受賞者） ※角野栄子氏は動画での出演のみ。 「角野栄子作品の魅力—国際アンデルセン賞受賞以降の作品を中心に—」 講師：土居安子氏（一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 理事・総括専門員）</p>
日 時	10月6日（日）14時～16時（開場13時30分）
会 場	国際子ども図書館アーチ棟1階 研修室1
対 象	中学生以上
申込方法	<p>イベントページ申込フォームに必要事項をご記入の上、お申し込みください。 https://www.kodomo.go.jp/event/event/event2024-10.html 定員：100名（先着順） 締切り：9月30日（月）</p>
そ の 他	<p>会場では、あらかじめ録画した講演動画を上映します。 動画上映後、来場者から質問を受け付け、土居安子氏からご回答いただきます。 また、土居安子氏と国際子ども図書館長との対談を行います。</p>

講演会終了後、講演動画をYouTubeの国立国会図書館公式チャンネルで公開します。

公開期間	10月7日（月）～12月25日（水）
対 象	どなたでもご覧いただけます。
申 込 み	不要

【講師略歴】

角野栄子氏（2018年国際アンデルセン賞作家賞受賞者）

ブラジル滞在時に会った少年との心の交流を描いたノンフィクション『ルイジンニョ少年—ブラジルをたずねて』（1970年）でデビュー。代表作『魔女の宅急便』（1985年）は児童文学賞を複数受賞。後に宮崎駿によって映画化された。幼年童話からファンタジーまで、ユーモアにあふれ、子どもの心をつかむ作品を多数執筆している。



撮影：秋庭柱太/c角野栄子オフィス

土居安子氏

（一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 理事・総括専門員）

子どもの読書活動や児童文学史を研究する児童文学研究者。教員や司書を対象とした読書活動にかかわる研修や、国内外の児童文学作家の講演会やシンポジウムの企画等も行っている。2017年から2020年まで国際アンデルセン賞選考委員。日本国際児童図書評議会（JBBY）専務理事。

